

## ご成婚記念の桜並木



「ソメイヨシノ」の続いて「八重桜」が咲く

この道には下記のほかの説明板もたっている。

「大野小学校の大げや木」

「大野ダイヤ倶楽部」

「幻の大函電鉄大野駅」

「大野川 二級河川大野川水系」

「漫画家・小山内龍」

「日本聖公会大野講義所跡」

「大野村外五ヶ村戸長役場跡」

桜を眺めながら説明板も読んでほしい

大野川に沿って南北に走る町道本郷川原町通線の両側に、ソメイヨシノを中心としたおよそ100本の桜並木がある。この桜は昭和34年(1959)、当時の皇太子殿下(平成天皇)のご成婚を記念して、町が植えたもので、5年ほど育苗した苗木を取り寄せ、町民の協力で植樹された。

当初は150本ほど植えられたが、その後の道路整備や河川改修で伐採されたり、一部が枯れたりして減ってしまった。当時は大野側沿いに、めん羊がよく放され、苗木が荒らされたともいわれている。

樹齢も50年を過ぎ、例年、5月上旬には満開となる。この桜並木通りを歩行者天国にして夜の花見を楽しもうと、桜の木をライトアップした「夜桜インおおの」が昭和63年から八年間続けられた。

また、本郷橋から鹿島橋までの土手に、樹径30センチほどの若い八重桜が37本植えられている。標柱には「平成天皇御即位記念樹」とあり、平成元年(1989)の植樹である。

平成16年11月吉日 大野町教育委員会